

平成 29 年度 事業計画書

公益財団法人 八王子市学園都市文化ふれあい財団

I 平成 29 年度経営方針

1. 28 年度事業の総括（概要）

平成 28 年度は、第 2 次中期経営計画の初年度として同計画に掲げる施策・目標の達成と、当年度経営方針に基づき、鋭意取組みました。その結果、事業活動収支（経常収支）において「収支差額の黒字」を達成（29 年 2 月末見込）することができました。また平成 27 年度に認証取得した ISO9001 品質マネジメントシステムの 2 年次サーベイランス審査の結果、維持可能との判定を受けるとともに、3 期にわたり行ってきた上柚木公園の指定管理については 4 期目も指定を受けるなど一定の成果をあげております。

各事業の主な内容において、まず文化事業では、八王子市が策定した「八王子市文化芸術ビジョン」（28～37 年度）の中で、本財団を市の文化芸術施策を具体的に実行していく団体として位置付けられており、その使命を果たすため、第 8 回八王子音楽祭を約 1 ヶ月に渡り 70 事業実施したほか、新たに多摩地域の伝統文化を紹介する多摩伝統文化フェスティバル「伝承のたまてばこ」を、2 日間で 25 事業実施しました。また、夢美術館では、機器の入れ替えに併せ館内の装いも新たにすなどリニューアルオープンしました。

次にコミュニティ事業では、八王子まつりにおいて市制 100 周年記念プレ事業の一環として行った「ギネスへの挑戦」において、2,130 人のギネス記録を「最多人数で踊る盆踊り」及び「浴衣を着た最多人数」のそれぞれで達成しました。

次にスポーツ事業では、上柚木公園の陸上競技場で行った小学生陸上競技大会「八王子ダッシュ！」において、児童の参加者がこれまでで最も多い 587 人となり、年々拡大しております。

最後に学園都市づくり事業では、「夏休み子どもいちょう塾」を 2 日間に拡大したほか、「八王子学生 CM コンテスト」を新たに実施しました。

このように第 2 次中期経営計画（2016～2020）に掲げた目的を着実にやっているほか、ISO9001 品質マネジメントシステムやお客様の声対応システムの運用等により利用者の高評価を維持しています。

一方で、指定管理施設の利用料金収入が伸び悩んでおり、少子高齢化社会も迎え大幅な増額が困難な状況です。今後、社会情勢の変化に柔軟に対応できる運営を行うには、本財団の体質を強化するための組織体制を築いていかななくてはなりません。今後も中期経営計画に基づき、安定した経営が継続できるよう努めていく必要があります。

2. 予算編成方針

平成 29 年度は、「第 2 次中期経営計画」の 2 年目の年でもあり、目標に掲げた指標の進捗管理を行うとともに、創意工夫を凝らして新たな取組を積極的に行っていく必要があります。同時に、八王子市市制施行 100 周年という大きな節目の年に当たり、本財団としてもその記念事業の成功に向けて万全の体制を整えなければなりません。

現在の社会情勢では、少子高齢化や潜在成長率の低迷といった状況が続いているため、本財団管理施設の来館者や利用者の減少が懸念されており、新たな客層を掘り起こす必要があります。また、施設の老朽化対応が喫緊の課題であり、安全安心の施設運営を行うためには、施設の保全計画を策定し、市との協議が必要です。

これらのことから、一人ひとりが、本財団の職員としての自覚を持ち、本財団が発展するためには何をすべきかを念頭に置き、指定管理申請で提案した諸施策の実現と社会環境の変化等に伴う課題に的確に対応することが公益財団法人としての責務を果たすことに

ながら、それが実行できる予算としなくてはなりません。

そのためにも学園都市づくり、文化・芸術、コミュニティ、スポーツの4つの柱の各事業を積極的に展開する一方、二度と赤字に転落することのないよう経営基盤の強化を図り、誰からも信頼される財団であり続けるため、全ての職員が一致して最大限努力をする必要があります。

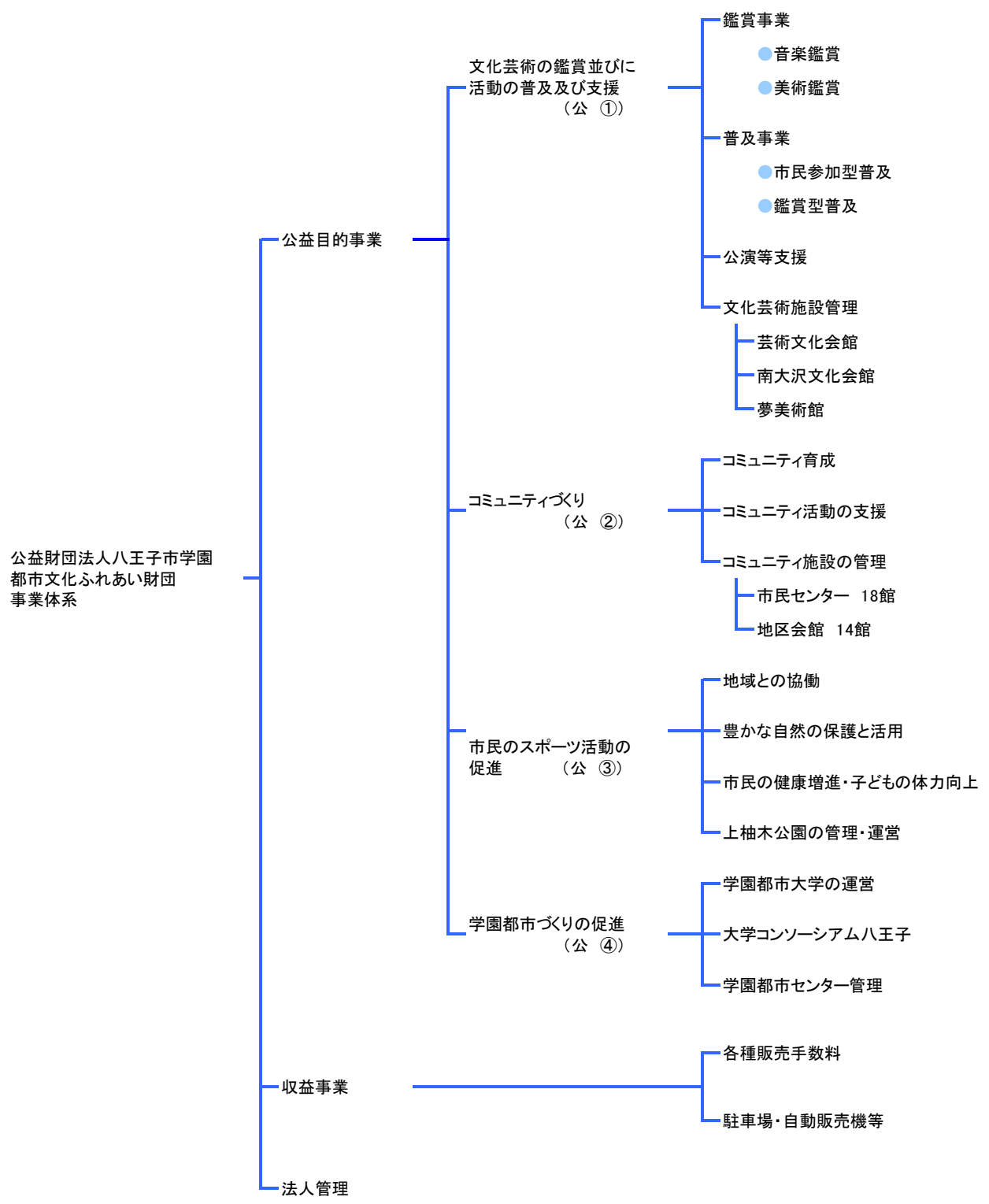
以上を踏まえ予算編成にあたっては次の基本事項を重視して行うこととします。

3. 基本事項

- (1) 八王子市市制 100 周年記念事業など本財団の存在意義を高める事業には集中的、重点的な財源投入を行うとともに、継続事業についてはその評価を行い、無駄の排除を徹底的に行うなどメリハリのある予算とすること。
- (2) 利用料金収入は指定管理施設運営の基本的な財源であり、申請時に掲げた目標額を必ず達成するようそのための方策を実行すること。
- (3) 人材育成は急務であり、そのために必要とされるあらゆる手立てを講じること。
- (4) 電力需給契約の締結やLED化の推進等による固定費経費の抑制や、物件費における適正数量、単価見積りの精査、時間外勤務の削減、適正な人員配置などコストの抑制に全力で取り組むこと。
- (5) 国、都、文化事業助成機関等の助成金及び民間からの協賛を最大限獲得するなど財源確保に努めること。
- (6) 補助事業及び委託事業は、赤字収支とならないこと。

Ⅱ 平成 29 年度事業概要

【 1 】 事業体系



【2】個別事業概要

1. 芸術文化の振興

八王子市市制施行 100 周年を記念し、オペラ「アイダ」をはじめとする八王子大音楽祭 2017 や「伝承のたまてばこ」といった街中で展開する大規模なフェスティバルを実施するほか、本格的なクラシック・ジャズ・ポピュラーなどのコンサート、歌舞伎・車人形などの伝統文化や演劇を鑑賞する公演、市民が参加・体験できるオペラ・ダンス・茶道・その他のワークショップなど、継続的かつ計画的に芸術文化の普及を図るための事業を実施する。

美術においては、国内外で高い評価を得ている美術作品等の紹介や学生・子どもたちも楽しめる企画展を実施するほか、市制 100 周年記念事業として本市ゆかりの著名な画家を紹介する展覧会と市民公募展を実施するとともに、地域と連携した事業や収蔵品の調査研究を行う。

文化 3 施設の指定管理者として、利用者・市民に満足をいただける施設運営を行うため、施設の特長・ポテンシャルを最大限発揮する事業を展開する。

(1) 実演芸術

① 音楽等芸術文化の鑑賞機会の提供

<主な事業>

ア. 八王子大音楽祭をホールや街中のカフェ・商業施設等で多様に展開する。

- オペラ「アイダ」[オリンパスホール]
- LISA ONO Bossa Nova Concert 2017 [オリンパスホール]
- ウェールズ弦楽四重奏団 [南大沢文化会館]
- 八人の王子たち in 南大沢 [南大沢文化会館]
- さくらこまち和楽団 [南大沢文化会館]
- 南大沢コミュニティオペラガラコンサート [南大沢文化会館]



イ. 一流の芸術実演団体やアーティストによる質の高い芸術文化のコンサートを実施する。

- 東京交響楽団 第 2 回八王子定期演奏会 [オリンパスホール]
- 仲道郁代・川井郁子 with 中丸三千繪コンサート [オリンパスホール]
- チーフタンズコンサート [オリンパスホール]
- MINAMIOSAWA JAZZ SERIES [南大沢文化会館]
- 歌舞伎公演 [オリンパスホール]



ウ. 親しみのもてる企画で質の高い音楽に触れる機会を提供する。

- フォレストコンサート [オリンパスホール]
- ドラゴンクエストコンサート (東京都交響楽団) [オリンパスホール]
- 大野雄二&ルパンティックシックス ルパンジャズ ライブ [いちようホール]



② 市民参加型普及

<主な事業>

ア. フェスティバル事業において、市民や子どもたちの演奏・上演の機会を提供する。

- 八王子大音楽祭（全ホール、街中や郊外のカフェ及び商業施設等）
- 青少年のための南大沢音楽祭・南大沢地域音楽祭（南大沢ミュージックマンス
[南大沢文化会館]
- オヤジバンドフェスティバル・中高生バンドクリニック（八王子大音楽祭）
[南大沢文化会館]
- オーケストラ・ワンダーランドへようこそ！ [オリンパスホール]
- 学生演劇フェスティバル [いちょうホール]
- ダンスの響演～樹下に集う～ [オリンパスホール]

イ. 体系的な市民参加ワークショップと発表公演への参加機会を提供する。

- 八王子クリンゲンコア（市民合唱団）練習と発表 [いちょうホール]
- MOB ダンスワークショップと発表公演 [南大沢文化会館]
- 伝統文化ふれあい事業（実行委員会事務局） [いちょうホール等]

ウ. ユースオーケストラへの参加機会を提供する。

- 弦楽アンサンブルに管打楽器を加えた小学生から25才までのオーケストラの継続的練習およびその成果発表コンサート [いちょうホール]

エ. 南大沢地域の市民参加型オペラ（南大沢コミュニティオペラ）の制作・発表に参画する。

- 地域住民や学生が参加する合唱練習や衣装・舞台などのワークショップを実施し、プロとアマ混合でオペラを制作・実施 [南大沢文化会館等]

③ 鑑賞型普及

<主な事業>

ア. 八王子特有の芸術文化の普及を図るため、鑑賞事業を誘致する。

- 八王子車人形公演（シリーズ事業） [いちょうホールほか]

イ. 質の高い芸術文化の普及を図るため、著名なオーケストラや劇団、若手の演奏家等による気軽に楽しめるトーク&コンサートや学校へのアウトリーチを行う。

- 上野星矢 音の万華鏡～フルートで語るフランス絵画～（八王子大音楽祭）
[いちょうホール]
- トワイライトライブ（八王子大音楽祭） [八王子スクエア]
- 音楽ノ吹き抜けコンサート（八王子大音楽祭） [セレオ八王子北館]
- アフタヌーンコンサート（年に3回予定） [いちょうホールほか]
- モーニングコンサート（年に4回予定） [南大沢文化会館]
- 劇団四季「こころの劇場」 [オリンパスホール]
- 学校アウトリーチコンサート（年に3校予定）
- 0才からのオーケストラコンサート（東京交響楽団） [オリンパスホール]
- たにぞうコンサート（緑化フェア連携事業） [いちょうホール]

ウ. 八王子の街を舞台に伝統芸能に親しみ、その価値を再発見できるフェスティバルを実施する。

- 伝承のたまてばこ [JR八王子駅周辺、ユーロード、中町公園、横山町公園ほか]

④ 公演やアーティストへの支援

<主な事業>

市民や学生ら自らが出演し、また主催者となって行う芸術文化事業の企画やPRなどの支援を行う。

- 八王子シアタープロジェクト(市民劇団) [いちょうホール]
- ステップアップコンサート [いちょうホール]
- 中学生絵画展 [学園都市センター]
- 全国バレエコンクール in 八王子 [オリンパスホール]
- ショパン国際ピアノコンクール in ASIA [学園都市センター]
- 多摩美の音楽実験室 [いちょうホール]

⑤ 文化施設の管理・運営

管理の指定を受けている芸術文化会館(いちょうホール)・南大沢文化会館において、日常・緊急時を通じ切れ目のない危機管理体制を構築し、安全・安心な館の管理を行うとともに、施設の長寿命化を図る維持管理・保全に努める。また、ISO9001品質マネジメントシステムを運営の中心に据え、利用者満足度の最大化を図るため、お客様の声対応システムの運用と、運営改善の取組を推進する。

(2) 美術(夢美術館)

① 美術鑑賞

<主な事業>

ア. 国内外で高い評価を受けている優れた美術作品等を紹介する。

- カッサンドル・ポスター展 グラフィズムの革命
(20世紀前半に活躍した画家。グラフィックデザイナーの先駆者)

イ. 現代の息吹を感じ未来を指向する、学生や子供たちも楽しめる展覧会を開催する。

- 誕生40周年 こえだちゃんの世界展
(’70~’80年代に人気を博したロングランの玩具の誕生から現在までを紹介)
- ムットーニ ワールド からくりシアターⅣ
(自動人形師ムットーニによる人気シリーズ第4弾)

ウ. 地域ゆかりで国内トップレベルの美術作品等を紹介する。

- 市制100周年記念 昭和の洋画を切り拓いた若き情熱
1930年協会から独立へ(八王子ゆかりの洋画家、小島善太郎が創立した美術団体を回顧)
- 市制100周年記念 没後30年 銅版画家 清原啓子
(八王子出身の夭折の銅版画家について、新発見の資料、ヨーロッパの巨匠の作品を交え紹介)



清原啓子《久雄十蘭に捧ぐ》1982年

② 市民参加型普及

<主な事業>

- ア. 市制 100 周年を記念して「八王子」をテーマとした作品を市民より募集する。
 - 市制 100 周年記念 はちおうじ公募展
- イ. 市内大学在学学生等が参加する美術大学連携事業を開催する。
 - 東京造形大学、多摩美術大学等

③ 鑑賞型普及

<主な事業>

- 他の機関や市民団体等と連携し、スタンプラリーを開催する。
- はちおうじ美術館めぐり SUN☆KANラリー
 - 八王子画廊散歩

④ 夢美術館の管理・運営

管理の指定を受けている夢美術館において、観覧料徴収等の業務や設備・備品の管理から収蔵品管理・活用など適正な管理運営に努めるとともに、利用者満足度の最大化を図るため、お客様の声対応システムの運用と、運営改善の取組を進める。

また、収蔵作品、関連資料等を整理、記録、調査・研究し、一般公開に向けての準備を行う。

2. コミュニティづくりに関する事業

市民センター18館等の指定管理者として、各住民協議会と連携して同センターを拠点に地域コミュニティの一層の振興を図るための事業を行う。

また、八王子まつり等の事務局を担い、伝統文化・地域文化の継承・発展に貢献するため、まつりの魅力を全国に発信する。

(1) コミュニティの育成

<主な事業>

① コミュニティづくりの活性化

住民協議会や社会福祉関連団体との協働により、市民センターを会場として、地域住民対象に高齢化・福祉・環境・子育て・教育など、子供から高齢者まで幅広い世代が気軽に参加できる講座を開催し、地域住民の交流の場を提供する。

② 住民協議会連携事業

地域コミュニティの一層の醸成を図るため、コミュニティの中心を担う住民協議会活動の紹介や、連携し事業を行う。

また、地域活動の次世代のリーダーを養成するため、住民協議会や関連団体と連携し、講座を開講する。

③ 地区図書室の運営

「読書のまち八王子」の推進に寄与するため、地域の交流を図るとともに市民センター等 16 施設で住民協議会を中心とした地域住民により地区図書室を運営し、図書の貸出をはじめ読み聞かせ等の事業を行う。また、八王子市中央図書館との連

携により地区図書室担当者研修を行う。

(2) コミュニティ活動の支援

<主な事業>

① 住民協議会への助成

コミュニティづくりを中心的に推進している 17 地域住民協議会に対し、運営費をはじめ、広報紙の発行費用、地域住民のニーズに応じて開催される「地域ふれあい講座」の開催経費の一部を含めた運営にかかわる費用を助成する。

② まつりへの助成事業

「八王子まつり」「フラワーフェスティバル由木」の事務局運営を担うとともに経費の一部を助成する。また、市民手づくりの祭りである「八王子いちよう祭り」の事務局運営の支援を行い、併せて「踊れ西八夏まつり」の開催経費の一部を助成し活動を支援する。

なお、各祭りでは、市制施行 100 周年を祝う事業を実施する。

●市制 100 周年記念 八王子まつり

- ・開催日 平成 29 年 8 月 4 日(金)、5 日(土)、6 日(日)
- ・会場 甲州街道(八王子駅前～追分町)及び西放射線ユーロードほか

●市制 100 周年記念 第 19 回フラワーフェスティバル由木

- ・開催日 平成 29 年 4 月 29 日(土)、30 日(日)
- ・会場 南大沢中郷公園及び南大沢駅前遊歩道

●市制 100 周年記念 第 38 回八王子いちよう祭り

- ・開催日 平成 29 年 11 月 18 日(土)、19 日(日)
- ・会場 甲州街道(追分町～小仏関所跡)及び陵南公園ほか

●市制 100 周年記念 第 16 回踊れ西八夏まつり

- ・開催日 平成 29 年 9 月 2 日(土)、3 日(日)
- ・会場 JR 西八王子駅北口駅前広場及び仲通り



八王子まつり

(3) コミュニティ施設の管理・運営

<主な事業>

① 市民センター管理事業 18 館(分館 1 含む)

管理の指定を受けている市民センター18 館(分館 1 含む)において、日常・緊急時を通じ、切れ目のない危機管理体制を構築し、安全・安心な館の管理を行うとともに利用案内、施設貸出、利用料徴収等の業務及び施設や設備の長寿命化を含む施設保全など適正な管理運営に努める。また、利用者満足度の最大化を図るため、お客様の声を運営改善に反映させる取組を進める。

② 市民センター運営事業

●「地域ふれあいサロン」

市民センターにおいて、住民協議会やコミュニティ推進員等と連携・協働し、新規サロンを立ち上げるとともに既存のサロンについては自主運営化を進める。

●地域情報の提供

市民センター館内に設置した情報掲示板を通して、住民協議会をはじめ、町会・自治会・利用団体等のきめ細かな地域情報を発信する。

③ 地区会館管理事業 14 館

地域に密着した管理及び地域活動に根ざした運営を行う。

3. 市民のスポーツ活動の促進

市内最大の総合公園である上柚木公園の指定管理者として、第2種公認陸上競技場や野球場など、多くの市民に利用いただいている運動施設のほか、多摩丘陵に残された自然環境資源を活かすため、「安全な公園づくり」、「きれいで使いやすい公園づくり」、「自然環境や貴重な動植物の保護」、「公園や施設の利用増進」及び、「地域や公園のアドプト団体との協働事業の推進」を基本とした地域の方々に愛されるための質の高いサービスを提供する。

また、東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップに向けての気運醸成を図る取組みを行う。

(1) 地域との協働

上柚木公園と地域との繋がりを育むため、地域のラジオ体操グループ等の活動の場として早朝の陸上競技場を新たに開放するほか、小中学校や青少年対策地区委員会と連携し、授業の一環として樹名プレート制作や地域で行う伝統行事などへ積極的に関わる。

また上柚木公園美化委員会など各種アドプト団体との活動を活性化し、花壇作りや清掃、草刈り、パトロールなどを通じ、地域と協働して公園づくりを行う。

(2) 豊かな自然の保護と活用

「植物」や「野鳥」をテーマとし、上柚木公園の四季折々の自然の魅力を市民に提供する。また、林床を改善し、より多くの貴重な野草を再生するため、下草刈りなどの活動を地域団体の協力のもと実施する。

(3) 市民の健康増進・子どもの体力向上

<主な事業>

① はちおうじダッシュ!

年々参加者が増加する本大会をさらに充実させるとともに、市内の陸上競技者や多くの学生サポーターに協力していただき円滑な事業を実施する。



はちおうじダッシュ!

② テニスビギナーズスクール

日本工学院八王子専門学校に協力いただき、テニスコーチを目指す同校の学生との協働により初心者等を対象とした中期スクールを行う。

③ ジュニアジョギングスクール

コニカミノルタ陸上競技部及びJR東日本ランニングチームの指導のもと、子どもたちの健全育成を目標に掲げ年間24回程度ジョギングスクールを実施する。

(4) 上柚木公園の管理・運営

管理の指定を受けている上柚木公園において、日常・緊急時を通じ、切れ目のない危機管理体制を構築し、安全・安心な管理を行うとともに利用案内、施設貸出、利用料徴収等の業務及び施設や設備の長寿命化を含む施設保全など適正な管理運営に努める。また、利用者満足度の最大化を図るため、お客様の声を運営改善に反映させる取組を進める。

4. 学園都市づくりの促進

学園都市づくりの拠点である学園都市センター指定管理者として、同センターの利用を促進させるとともに、学園都市づくりの一層の推進を図るため学園都市大学、大学コンソーシアム八王子等各事業を円滑に実施する。

(1) 学園都市大学の運営

大学コンソーシアム八王子加盟の 25 大学等との連携により、『市民のだれもが自由に学べる開かれた学び舎』として開学された八王子学園都市大学（いちょう塾）の運營業務を八王子市から受託し、講座の設定・管理、受講生の募集・受付・管理及び大学等講座提供機関との連絡・調整を行う。

年間の開講講座を前期・後期の 2 期に区分して設定し、4 月から 8 月を開講期間とする前期においては、158 講座を予定し、後期と併せて、300 講座の開講を計画する。

また、八王子市市制 100 周年記念事業として、「記念フォーラム」及び「記念企画展」を開催する。

<前期開設予定講座>

①公開科目

『西洋美術史研究 IV』、『伝承美（茶道）』など 50 講座

②特設科目

『社会人のための金融経済教室』、『イタリア語 初級』など 77 講座

③公開講座

『パイプオルガンレクチャーコンサート』、『エンタテインメント産業論』など 31 講座



平成 28 年度前期講座
『転換期にある大借金国家日本の財政問題』



平成 28 年度前期講座
『誰でも簡単「初級」つぼ講座』

(2) 大学コンソーシアム八王子の運営

大学、学生、市民それぞれが地域に多くの大学等があるメリットを感じることで、高等教育の充実、地域社会の発展及び地域の国際化を目指すなど魅力ある学園都市の形成に向け、「大学コンソーシアム八王子」の事務局として中心的な役割を担う。

<主な事業>

① 大学等連携事業

大学連携により、単体の大学では困難な取組みを効果効率的に実施する。

- 夏休み子どもいちょう塾
- FD・SDフォーラム
- 単位互換の推進
- 大学施設（図書館、運動施設等）の市民開放推進



夏休み子どもいちょう塾

② 情報発信事業

加盟大学の活動や、コンソーシアムの取組みを市民及び全国へ発信する。

- 大学コンソーシアム八王子情報 Vol. 12 の発行
- 新入生のための生活便利帳「シティインデックス八王子」発行
- ホームページ、SNS

③ 学生活動支援事業

学生が地域や街中で活動するための支援を行う。

- 八王子地域合同学園祭第12回★学生天国★
- ビッグウエスト学生フェスティバル2017
- 八王子いちょう祭り学生広場の運営支援
- 学生企画事業への補助



八王子地域合同学園祭
★学生天国★

④ 産学公連携事業

大学の研究機能を活かすため、大学間、大学と産業との連携を進める。

- 大学コンソーシアム八王子学生発表会
- 八王子まつり山車曳き体験
- 八王子学生CMコンテスト



学生発表会

⑤ 外国人留学生支援事業

留学生の生活支援や地域との交流を促進する。

- 留学生座談会

(3) 学園都市センターの管理・運営

管理の指定を受けている学園都市センターにおいて、日常・緊急時を通じ切れ目のない危機管理体制を構築し、安全・安心な館の管理を行うとともに、施設の長寿命化を図る維持管理・保全に努める。また、ISO9001品質マネジメントシステムを運営の中心に据え、利用者満足度の最大化を図るため、お客様の声対応システムの運用と、運営改善の取組を推進する。

5. 法人管理

公益財団法人として公益目的の達成と安定的な経営基盤の確立のため、適正な法人管理を行う。

(1) 財政収支の改善

持続的・安定的経営を図るため、固定費を抑制するとともに、自主財源確保の取組を強化する。

- 財団管理の全施設に競争入札による電力需給契約及びLED化の推進
- 利用料金収入、自主事業収入の増収と外部助成金、協賛金の獲得及び共催手数料収入確保
- 部門別予算執行（財政収支）管理の徹底

(2) サービス品質の向上

お客様満足度の最大化を図るため、常に改善を行うことでサービス品質を向上させる。

- IS09001品質マネジメントシステムを運用し、マネジメントの確実性を高める。
- 情報セキュリティを強化
- 個人情報保護・著作権保護等コンプライアンスの徹底

(3) 組織力強化

社会環境の変化や利用者のニーズに対応するため、組織力を強化する。

- 再任用制度の改革
- 業務のアウトソーシングの推進
- 専門人材の養成を含む研修体系・研修計画の策定、実施
- 情報紙・ホームページ・メディア等を通じた情報発信力の強化

(4) 第2次中期経営計画及び指定管理提案の目標達成

- 課別経営計画を毎年度策定と毎月点検
- 各施策の進捗状況を点検・自己評価と、必要に応じた中期経営計画の見直し